

Calbee

みんな
mino

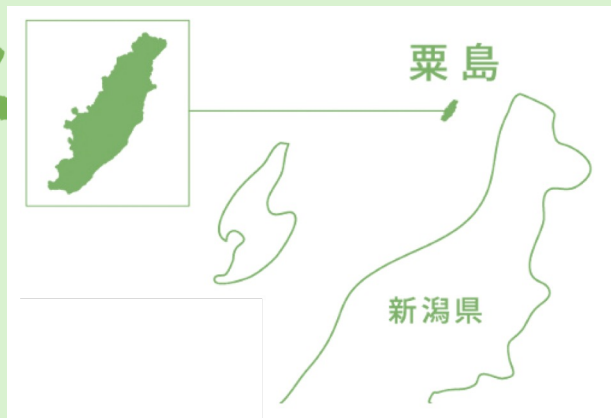
栗島一人娘

PROJECT



カルビー社員・島の人たち・ファン・学生 みんなで紡ぐ持続可能な農業モデルづくりの物語





粟島

日本海にぽつりと浮かぶ新潟県の離島 粟島は
人口約325人、日本で4番目に人口が少ない自治体（粟島浦村）
日本で最も高齢化率が高い離島のひとつ
島内には警官も医者もいない



在来種の青大豆「一人娘」



幻の「一人娘」

- ・今はもう粟島と長野県のごく一部でしか栽培されていない希少な在来種の青大豆
- ・大事に育て、どこにも出したいところから「一人娘」という名前になったとか他人に教えたくない程おいしいことから「いなよ」という別名も持つ
- ・収穫時期は11月後半と大豆としては極めて遅い。実は大粒でとても甘い
- ・島外にはいっさい出荷されず、自家消費と一部お土産品で使われるだけの幻の豆

カルビーの2030VISION（2020年当時）

Next Calbee
2020.03.01 RELEASE

カルビーはもともと産地から原料を採って加工製造し、直接お客様においしさを届けています。ローカルに根付いたものづくりを、カルビーらしく進化させたいと思っています。人が減って、一次産業の担い手も減っている時代。でも、観光客をはじめ、人々の期待はやみません。地域にまだまだ眠っている素材。価値をみがいて、表現をみがいていこう。たとえば、素材そのままの純粋な加工品。たとえば、農家さんのリアルタイムな情報発信。たとえば、サステナブルなパッケージの開発。カルビーが産地のため、各地の農業のためにできることはまだまだ広がります。よその町の事例ではなく、オリジナルの実例をつくろう。きっとそれもSDGsのひとつです。スナック製造だけじゃない。地域の課題をバネにして、魅力を耕していくカルビーです。

Be Local
日本の「耕す」を新しくする

Be Local

日本の「耕す」を新しくする

ローカルに根付いたものづくりを、カルビーらしく進化させたいと思っています。人が減って、一次産業の担い手も減っている時代。（中略）

地域にまだまだ眠っている素材。

価値をみがいて、表現をみがいていこう。（中略）

カルビーが産地のため、各地の農業のためにできることはまだまだ広がります。

よその町の事例ではなく、オリジナルの実例をつくろう。

きっとそれもSDGsのひとつです。

スナック製造だけじゃない。

地域の課題をバネにして、魅力を耕していくカルビーです。

おどろくほど美味しい「一人娘」との出会い



カルビー
マーケティング本部
ブランド戦略室
藤東亮輔

商品企画会議で、新商品を開発しようと
全国から取り寄せた豆を試食していたら
ひとつだけみんなが

ずっと手を伸ばし続ける豆がありました。

「この豆、めちゃくちゃおいしくない!？」

それが一人娘との出会いでした。

試しに『miino』をつくるラボで揚げてみ
ると

まるでお豆腐屋さんのような
香ばしい匂いが辺りに漂って、

隣の開発チームまでもが

『何してるの?』と集まってきたんです

立ちはだかったリアルな島の現実



大企業のカルビーに、こんな小さな島に興味を持ってもらうことはありがたいが、目の前に高齢化という課題があって、生産者がどんどん減っていくなか、誰が豆を育てるの？

島のお婆さんたちにこれ以上無理はさせられないし、今年が生産者が来年居るとも限らない。

畑も、狭い島にはこれ以上作る場所はないんです！

「一人娘」の存続の危機

深刻な生産者の高齢化と後継者不足、担い手がいない



- ・生産者の年齢は80歳前後、生産農家は残り10軒程にまで減少
- ・全て手作業で栽培のため極めて手間がかかる。島にトラクターなど耕作機械はほぼない
- ・当時、島全体での生産量はわずか400kgで、その収穫分はカルビーには回せない
- ・集落の畑は狭く、島民が利用するため使用できない。
残る圃場候補地は人の住まない島北部の耕作放棄地のみ

MISSION

みんなの覚悟が決まる。こんなに美味しくて希少な「一人娘」を絶やしてはいけない！

「商品売る」から「物語と体験を共創する」持続可能なビジネスモデルへ



カルビー社員やカルビーファンが全国から来島し栽培支援！

- ・毎回の栽培作業にカルビー社員が来島
- ・栽培ツアーを開催しカルビーファンや大学生が全国から自費で来島
- ・島北部の耕作放棄地を開墾
2022年は40a、2023年は72aの栽培面積で、いまや島最大の圃場に
- ・地元メディアも毎回参加、粟島で代々受け継がれてきた在来種「一人娘」の存在とプロジェクトの取り組みをPRして、話題化、付加価値づくり。
- ・プロジェクトを通じた関係人口づくり、後継者づくりに取り組む



多くのステイクホルダーを巻き込んだプロジェクトへ成長

カルビー・粟島浦村・粟島観光協会・全国のカルビーファン・NPO 離島経済新聞社
地元メディア・新潟大学・粟島小中学校・新潟県村上地域振興局など多くのステイクホルダーが参加



みんなが粟島一人娘の「物語」の登場人物となり、ナラティブな価値を創出



参加者が熱狂的なファンや関係人口に

2023年の参加者は100名を超え、粟島ファンやリピーター、関係人口を創出

* ツアー参加者の声（アンケートより）

地元に戻ってきても、これから頑張ろうと力が湧くように思っています。

粟島や自分が今住んでいる地域の今後について深く考えるようになりました。

たかが菓子、でも原料からこだわるカルビーの姿勢に驚き、これからミーノ以外の商品を購入するときでも意識してしまうと思います。

それまで農業には暗いイメージがありましたが、まだまだ工夫次第でやれることがありそうだなと思うようになりました。

帰宅してからも粟島での素晴らしい体験が忘れられずにいます。スーパーに行ってもCalbee商品しか目に入りません！

自分よりもはるか年上のおばあちゃんたちが行っていると思うと、ほんとうに大変で、感謝しなくてはいけないなと思いました。また、貴重な「一人娘」を最後の一粒も残さず拾ってバケツに入れる作業が特に印象的でした。



自然を感じて、その土地の物を食べて楽しく過ごす、生きる力が湧くというか、こんなに心身共に健康になるんだということに驚いています。

今後は、いろいろな形で何かできることはしていきながら、応援し続けたい。

また一人娘プロジェクトに関わらせていただけるのを、ミーノを食べながら待っています！

コンビニに寄ったらミーノが置いてあるかチェックするくらいに愛着が湧いています(笑)

これから、カルビー株式会社と粟島浦村の素晴らしさをたくさんの人に伝えたいです。

粟島での体験・カルビーのみなさんの、一人娘に対する深い愛情、明るさ、優しさ、全国各地の方との出会い・・・
粟島での2泊3日全てが私にとって宝物になりました。

PRでの情報発信で話題化

「一人娘」栽培 持続目指す

粟島特産の大豆

一人娘 粟島産大豆 収穫後押し

カルビーが応援事業 商品化視野、社

「新潟SDGsアワード」大豆に着眼 粟島、カルビーへ大賞

「新潟SDGsアワード」で表彰される「カルビー」の社員ら

表層・中層・高層にわたって「一人娘」を栽培し、収穫後押しが、今年も引き続き行われ、関係者らも参加した。関係者らも参加した。

「一人娘」栽培は、大豆の収穫後、乾燥・選別・包装までを、一人ひとりが手作業で行う。関係者らも参加した。

「一人娘」栽培は、大豆の収穫後、乾燥・選別・包装までを、一人ひとりが手作業で行う。関係者らも参加した。

この粟島に「バンクシー」&「お菓子メーカーの大手カルビー」も注目

「一人娘」栽培は、大豆の収穫後、乾燥・選別・包装までを、一人ひとりが手作業で行う。関係者らも参加した。

「一人娘」栽培は、大豆の収穫後、乾燥・選別・包装までを、一人ひとりが手作業で行う。関係者らも参加した。

「一人娘」栽培は、大豆の収穫後、乾燥・選別・包装までを、一人ひとりが手作業で行う。関係者らも参加した。

「一人娘」栽培は、大豆の収穫後、乾燥・選別・包装までを、一人ひとりが手作業で行う。関係者らも参加した。

新潟大学 SDGs演習





「栗島モデル」として他地域への展開も視野に

「コマーシャル」ではなく「ナラティブ（物語）」な取り組みを

The screenshot shows the miino website with sections for '栗島一人娘プロジェクト' (Miino One Girl Project), '製品' (Products), 'miino一人娘プロジェクト' (Miino One Girl Project), 'ツアー栗島' (Miino Island Tour), 'miino一人娘しお味' (Miino One Girl's Taste), and '製品リンク' (Product Links). It features images of the products and the project's activities.

カルビー、栗島の福智農産品「一人娘」と出会う

福智農産品株式会社からカルビーへ、栗島一人娘プロジェクトの...

愛情を織り、プロジェクトがスタート

栗島一人娘プロジェクトのスタートは、栗島一人娘プロジェクトの...

miinoをきっかけに栗島に人を呼び込みたい

miinoの登場、栗島一人娘プロジェクトのスタートは、栗島一人娘プロジェクトの...

最大の壁は、生産力の確保。

最大の壁は、生産力の確保。栗島一人娘プロジェクトのスタートは、栗島一人娘プロジェクトの...



愛情を織り、プロジェクトがスタート



miinoをきっかけに栗島に人を呼び込みたい



最大の壁は、生産力の確保。

【収穫体験レポート】島ファンとカルビーファンで賑い、栗島「一人娘」物語

2023年10月、栗島「一人娘」収穫体験レポート。栗島一人娘プロジェクトの...

栗島到着！miino「一人娘」物語の一員に。

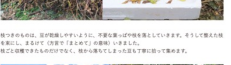
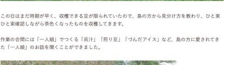
栗島到着！miino「一人娘」物語の一員に。栗島一人娘プロジェクトの...

いよいよ収穫！そして「はざがけ」。

いよいよ収穫！そして「はざがけ」。栗島一人娘プロジェクトの...

収穫体験レポート

収穫体験レポート。栗島一人娘プロジェクトの...



背景や裏側も隠さず、プロセスの全てを情報発信することで、
真似のできないmiinoブランド独自の「情緒価値」「未来価値」を創出

「粟島モデル」として他地域への展開も視野に

「商品売る」 → 「**物語と体験を売る**」ビジネスモデルへ

初来島から3年目
ついに商品が完成！
一粒約50円！？

2023年も
3回のツアーを実施！



1袋1500円 限定商品として
高付加価値の商品化
(通常商品は約170円)



農作業支援ツアー
交通費も宿泊費も全額自己負担で
本当のファンにだけ来島してもらう
(播種／雑草抜き／収穫)

島での農作業が
大学のSDGs演習に！



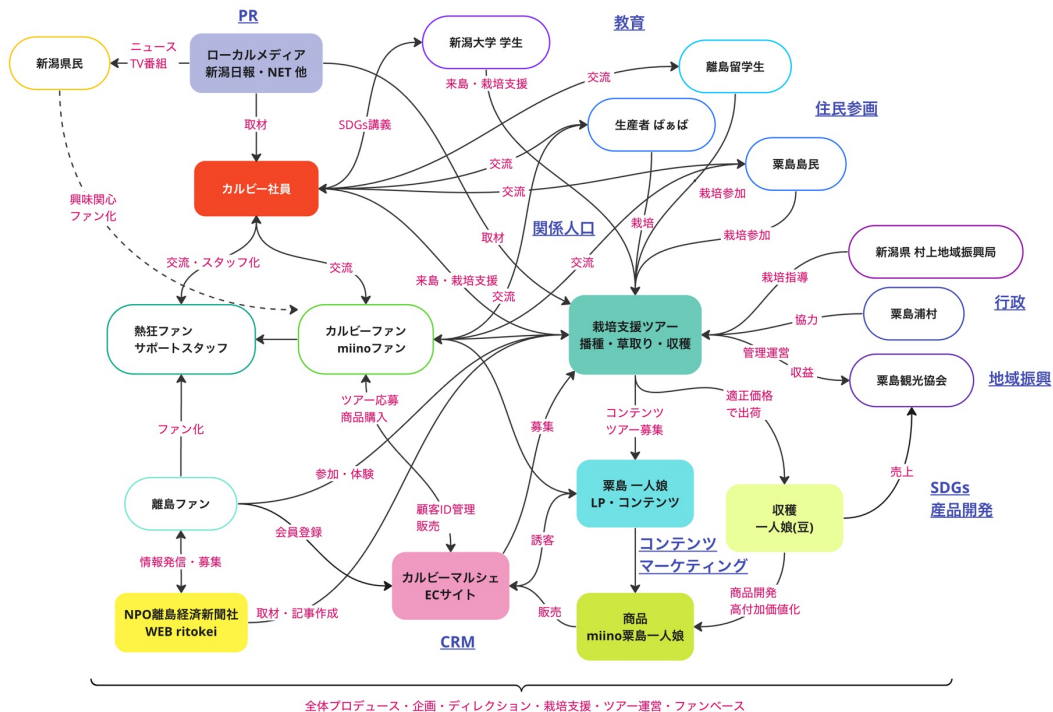
新潟大学 SDGs演習や
SDGsウェビナーでの講義

あったかい
出会いのおはなし

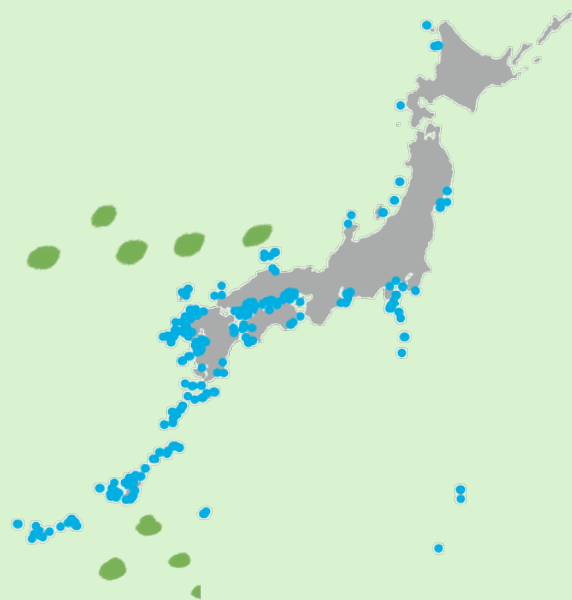


絵本

「物語と体験を共創する」ビジネスモデルで粟島「一人娘」を持続可能に



持続可能性の「課題先進地」から「課題解決の先進地」へ



地域課題×企業・ブランドのVISION

地域の持続可能性課題と企業・ブランドのビジョンを組み合わせたSDGsアクションプログラム

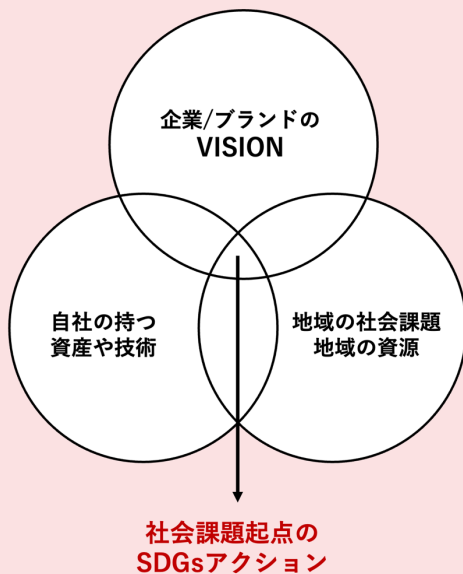
STEP1

事前準備

- ・ヒアリング
- ・優先課題の検討
- ・リサーチ
- ・0次仮説
- ・コーディネート
etc.

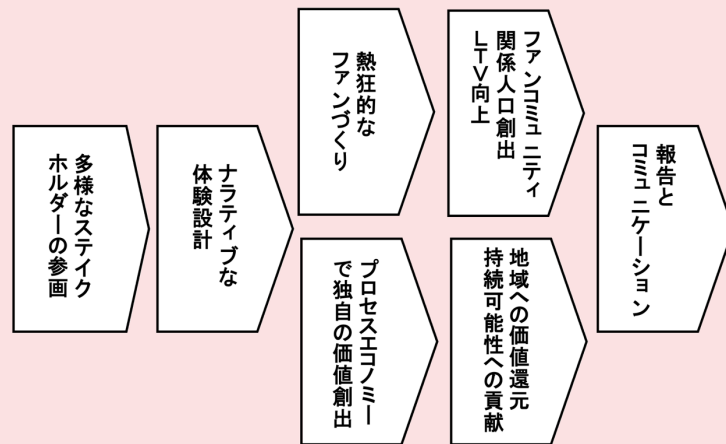
STEP2

プロジェクトの企画



STEP3

プロジェクトの実践



地域課題×企業・ブランドのVISION

地域の持続可能性課題と企業・ブランドのビジョンを組み合わせたSDGsアクションプログラム

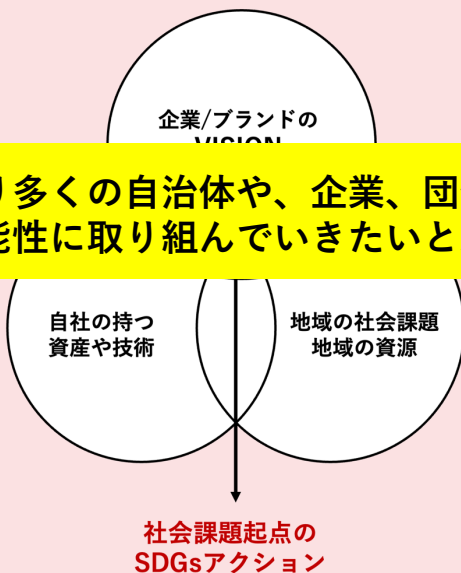
STEP1

事前準備

- ・ヒアリング
- ・優先課題の検討
- ・リサーチ

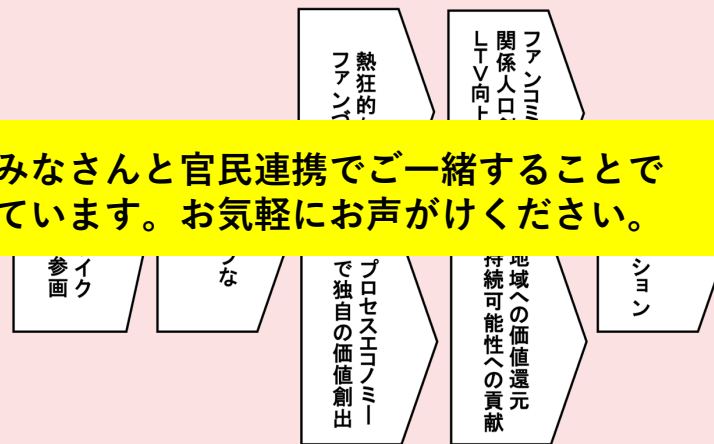
STEP2

プロジェクトの企画



STEP3

プロジェクトの実践



これからもより多くの自治体や、企業、団体みなさんと官民連携で一緒することで地域の持続可能性に取り組んでいきたいと思っています。お気軽にお声がけください。